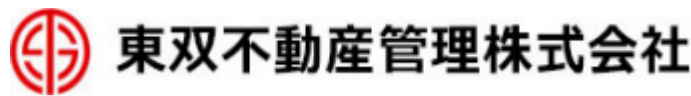


新春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で30回を向かえました。企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。今回は12月7日に東双不動産管理(株)様を訪問しました。皆さんが廃炉に向け作業に取り組まれている状況を報告いたします。



当社は昭和57年10月に大熊町に本社をおき、福島第一原子力発電所では、土地建物維持管理および企業センター運營業務を中心に携わってまいりました。震災後、事業の大半を喪失しましたが、新たな事業も展開する等、全社一丸となって事業の立て直しに取り組み、震災前を上回る業務を担わせていただいております。安全最優先を基本に、地元企業として福島復興に貢献してまいりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。  
(施設管理部長 鎌田良博)

### 安全作業

「道路清掃車」は、本年度社有車を配備しました。機動的対応が可能です。

福島第一原子力発電所構内の道路清掃作業を行っています。日々のTBM-KYでも、一人ひとりが安全を自分事として意識し、ゼロ災職場を目指しています。

### カイゼン活動

福島第一原子力発電所構内の除草作業を行っています。カイゼン活動により「破砕機」を導入して減容化することで、保管箱の使用数の削減につなげました。

**安全は今からここから自分から  
一人の意識がみんなを変える  
共に目指そうゼロ災職場ヨシ!**

東双不動産管理株式会社  
令和3年度安全スローガン

### 職場環境改善への貢献

福島給食センターでの調理から、福島第一原子力発電所の各食堂での食事提供まで受託しています。衛生管理を徹底し、管理栄養士が利用者の健康管理面でもサポートしています。

### 地域復興への貢献

双葉町の「東日本大震災と原子力災害伝承館」に隣接の「双葉町産業交流センター」2階に『レストランエフ』を出店しています。福島県産品の使用等、『食』で地域の復興に貢献します。

### 編集後記

今回の発刊に当たり、施設管理部長の鎌田様にはご多忙のところご対応いただき、ありがとうございました。東双不動産管理(株)様は、震災前、大熊町に拠点を置かれ事業を展開されておりましたが、震災と原子力事故により、大きく事業内容が変容し、事業立て直しに大変ご苦労されたようです。震災時の混乱を乗り越えて今に至るのは、震災前から地元企業として培ってこられたノウハウを強みに、震災後の様々な地域復興へのニーズに臨機に適應できたこと、また他ならぬ社員一人一人の復興への強い思いが事業を立て直す大きな原動力となったからではないかという気がいたしました。まだまだ復興は道半ばであります。東双不動産管理(株)様の今後のご活躍をお祈りいたします。ご安全に。

発行責任者：事務局長 中島 純一  
tel: 0240-23-6940 fax: 0240-23-6942